

教師の「ディスカッション教育」技能の開発と教育 支援システム作り

丸野, 俊一
九州大学大学院人間環境学研究院

<https://hdl.handle.net/2324/13253>

出版情報 : 2005-05
バージョン :
権利関係 :

研究発表

(1) 出版物

- 丸野俊一 2004 質問する力・議論する力としてのコミュニケーション 秋田喜代美(編) 子どもたちのコミュニケーションを育てる 教職研修, 2004/10増刊, 31-37.
- 丸野俊一 2004 大学生に求められる学力-創造的ディスカッション能力- 九州大学教育学部(編) いま, 学力を考える 九州大学出版会 pp.180-189.
- 丸野俊一 2005 創造的学びのスタイルを育むには 友枝敏雄(編) 心と社会をはかる・みる 九州大学出版会 pp.89-109.
- 丸野俊一 2005 授業の効果を上げる 高垣マユミ(編) 授業デザインの最前線-理論と実践をつなぐ知のコラボレーション 北大路書房 pp.123-157.

(2) 論文・紀要等

- 仮屋園昭彦・丸野俊一・綿巻徹・安楽朋陽 2004 複式学級に属する児童の異年齢集団による継続的話し合いの変容分析-協同問題解決型課題を用いて- 鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要, 14, 145-155.
- 富田英司・丸野俊一 2004 思考としてのアーギュメント研究の現在 心理学評論, 47, 187-209.
- 富田英司・丸野俊一 印刷中 曖昧な構造の協同問題解決における思考進展過程の探索的研究 認知科学.
- 生田淳一・丸野俊一 2005 教室での学習者の質問生成に関する研究の展望 九州大学心理学研究, 6, 37-48.
- 生田淳一・丸野俊一 2004 小学生は授業中に質問を思いついているのか-疑い知ろうとする気持ちの生起と教師に対する質問生成・表出との関連- 九州大学心理学研究, 5, 9-18.
- 仮屋園昭彦・丸野俊一・綿巻徹・高橋豪 2005 児童の話し合い場面におけるコミュニケーション・モデル構築の試み 鹿児島大学教育学部研究紀要 教育科学編, 56, 165-205.

(3) シンポジウム

<2004年度>

- 丸野俊一・加藤和生 [企画者] 2004 教師が暗黙に想定しているコミュニケーションスキルの発達モデルとは? (日本教育心理学会第46回総会自主シンポジウム21) 日本教育心理学会第46回総会発表論文集, S58-S59.
- 当真千賀子・丸野俊一 [企画者] 2004 対話を実践する授業の生成 -教師の実践知を描き出す試み- (日本教育心理学会第46回総会自主シンポジウム16) 日本教育心理学会第46回総会発表論文集, S48-S49.

<2003年度>

- 丸野俊一・加藤和生 [企画者] 2003 子どもの聴く力・話す力を育むには (日本教育心理学会第45回総会自主シンポジウム15) 日本教育心理学会第45回総会発表論文集, S48-S49.

<2002年度>

- 丸野俊一・加藤和生 [企画者] 2002 小学校でディスカッション技能を育むためには何が
必要か (日本教育心理学会第44回総会自主シンポジウム18) 日本教育心理学会第44回
総会発表論文集, S52-S53.
- 丸野俊一 [指定討論者] 2002 対話的学習環境をデザインする (日本教育心理学会第44回
総会準備委員会企画シンポジウム1: [企画者: 藤田豊]) 日本教育心理学会第44回総
会発表論文集, S4-S5.

(4) 口頭発表・ポスター発表

<2004年度>

- Maruno, S., & Kato, K. 2004 Association between "implicit rules of classroom discussions" and
children's perception of how teacher and peers perceive their question-asking. Poster presented
at the 28th International Congress of Psychology, August 8-13, 2004, in Beijing, China.
- Kato, K., & Maruno, S. 2004 Teacher's scaffolding and development of discussion behaviors in
Japanese children. Poster presented at the 28th International Congress of Psychology, August
8-13, 2004, in Beijing, China.
- Maruno, S., & Kato, K. 2004 Influences of discussion experiences with family / peers on
discussion behaviors. Poster presented at the 112th Annual Convention of the American
Psychological Association, Hawaii. July 28-August 1.
- Kato, K., & Maruno, S. 2004 Development of "Implicit Rules of Classroom Discussions" and
Discussion Behaviors. Poster presented at the 112th Annual Convention of the American
Psychological Association, Hawaii. July 28-August 1.
- Tomida, E., & Maruno, S. 2004 Factors Promoting Thinking Processes in Everyday Problem
Solving Discussion. Poster presented at the 28th International Congress of Psychology, August
8-13, 2004, in Beijing, China.
- Tomida, E., & Maruno, S. 2004 Do conversational conflicts facilitate personal knowledge
reconstruction in everyday problem solving? Paper presented at the 2nd Tokyo Conference on
Argumentation, August, .
- Tomida, E., & Maruno, S. 2004 Empirical findings and theoretical background of Argument as
thinking Paper presented at the 2nd Tokyo Conference on Argumentation, August, .
- Zhang, L., & Maruno, S. 2004 Why and How do Chinese Lecturers Introduce Dialogical
Teaching Methods into Higher Education. Poster presented at the 28th International Congress
of Psychology, August 8-13, 2004, in Beijing, China.
- 松尾剛・當眞千賀子・丸野俊一 2004 授業における対話の生成 - 子どもたちの発話形態
の変化を通して - 日本教育心理学会第46回総会発表論文集, 515.
- 生田淳一・丸野俊一 2004 小学校において質問が生じやすいのはどのような授業なのか
- 「授業 (社会, 理科, 学級会) の特徴の違い」による質問生成活動の程度の違い -
日本教育心理学会第46回総会発表論文集, 447.
- 生田淳一・丸野俊一 2004 教師は対話型授業をどのように認識しているか - 教科教育・道
徳・特別活動における実施状況の違いと実施上の問題点 - 九州心理学会第72回大会発
表論文集, 43.
- 富田英司 2004 議論展開過程の時系列的分析 日本知能情報ファジィ学会主催 ほっと暖
まる合同研究会 8月.

<2003年度>

- Tomida, E., & Maruno, S. 2003 Gender Difference in Effects of Conflict on Cognitive Change. Poster presented at the 25th Annual Meeting of the Cognitive Science Society, Boston. July, 31-August, 2.
- 松尾剛・丸野俊一・富田英司 2003 教養教育課程の教育目標を学生はどのように認識しているのか 日本教育心理学会第45回総会発表論文集, 385.
- 生田淳一・丸野俊一 2003 教師への質問行動に対する児童・学生の認識—小学生と大学生の質問行動に対する認識の質問紙調査による比較— 日本心理学会第67回大会発表論文集, 1230.
- 生田淳一・丸野俊一 2003 どうすれば小学生は授業で質問することができるようになるか (2) —質問生成を中心にした対話型模擬授業セッションの質的分析— 日本教育心理学会第45回総会発表論文集, 509.
- 富田英司・丸野俊一 2003 議論における探索方略と個人の素朴な説明の変化との関わり 日本教育心理学会第45回総会発表論文集, 617.

<2002年度>

- 生田淳一・丸野俊一 2002 どうすれば小学生は授業で質問することができるようになるか —質問生成を中心にした対話型模擬授業セッションによる介入の試み— 日本教育心理学会第44回総会発表論文集, 354.
- 生田淳一・丸野俊一・加藤和生 2002 授業での発言スタイルは小学生・中学生・高校生で異なるのか—発言スタイルの発達的变化と「議論スキルの水準」との関係の検討— 日本心理学会第66回大会発表論文集, 1114.
- 富田英司・丸野俊一・加藤和生 2002 行動についての素朴な説明は議論を通してどのように変化するのか 日本教育心理学会第44回総会発表論文集, 429.
- 富田英司・丸野俊一・加藤和生 2002 個人の持つ素朴な説明モードはどの程度安定しているか 日本心理学会第66回大会発表論文集, 215.
- 奈田哲也・生田淳一・丸野俊一・加藤和生 2002 小学校教諭が認識している対話型授業が持つ利点とは—「教師主導型」, 「教師—生徒対話型」, 「生徒間対話型」の3授業タイプの比較を通して— 日本教育心理学会第44回総会発表論文集, 345.
- 堀憲一郎・丸野俊一・加藤和生 2002 授業場面に潜む“暗黙のルール”と発言スタイルの関係 日本教育心理学会第44回総会発表論文集, 434.
- 堀憲一郎・丸野俊一・加藤和生 2002 授業場面に潜む“暗黙のルール”の発達の検討 日本心理学会第66回大会発表論文集, 1137.